

取扱説明書

吉田式マークダウンビューア

初版
10版

2025年08月03日
2026年08月02日

■このソフトウェアについて

本ソフトウェアは、Markdown形式のテキストを手軽に編集・確認できるWindows向けビューアです。リアルタイムプレビュー機能により、Markdownで記述した内容を即座にHTMLとして表示できるため、ドキュメント作成や技術資料の確認作業を効率化します。

■イメージ



■第三者製ソフトウェアについて

本ソフトウェアが使用している第三者製ソフトウェアおよび各ライセンスについては、同梱の `Licenses¥ThirdPartyNotices.txt` をご参照ください。

■動作環境

OS

Windows11

ハードウェア要件

Windows10以降が動作する環境

その他

- ・.NET 10版
.NET Desktop Runtime 10が必要です。通常はこちらを推奨します。

- ・.NET 8版
.NET Desktop Runtime 10をインストールできない環境向けです。
.NET Desktop Runtime 8が必要です。

・インターネットに接続できる環境でご使用ください。

→バージョン1.2より、オフライン環境でもご使用いただけるようになりました。
※初回起動時は、CSSやJavaScriptなどのWeb表示用リソースを準備するため、
起動に時間がかかる場合があります。

■インストール&起動方法

インストール

ダウンロードしたZIPファイル（YMW_xxxxxxx.zip）を任意のフォルダに展開してください。
※ZIPファイルのままでは起動できません。必ず展開してからご使用ください。

起動

上記インストールで展開したフォルダより「YMW.exe」を実行してください。

アンインストール

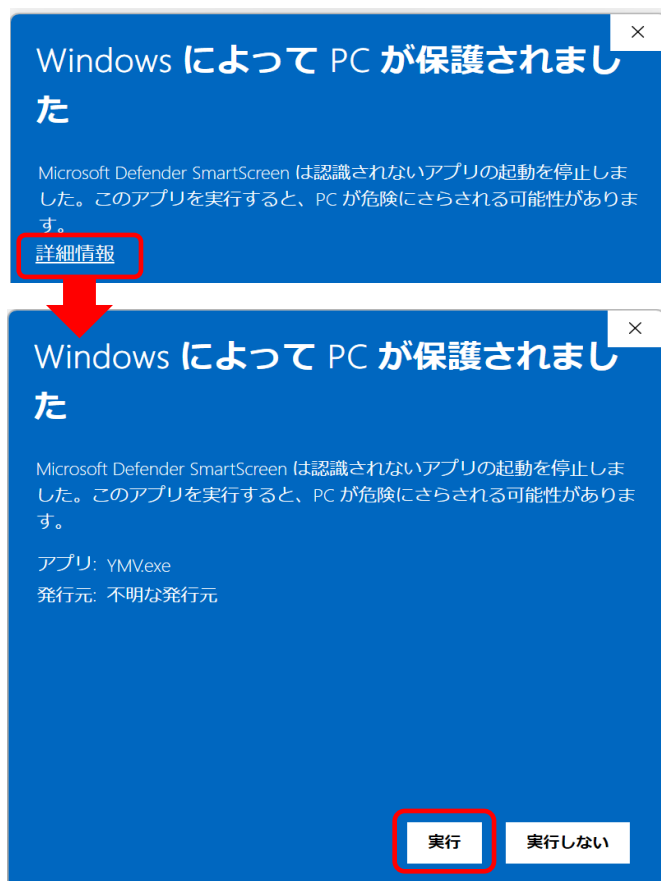
上記インストールで展開したフォルダやファイルを削除してください。
アンインストールの必要がない場合、この手順は不要です。
※「YMW.exe」の起動中は削除できないので、終了後に実施してください。

アップデート

ダウンロードしたZIPファイル（YMW_xxxxxxx.zip）を展開し、
インストールの手順で作成したファイルを上書きしてください。
※本ソフトウェアを起動している場合は、アップデート前に終了してください。

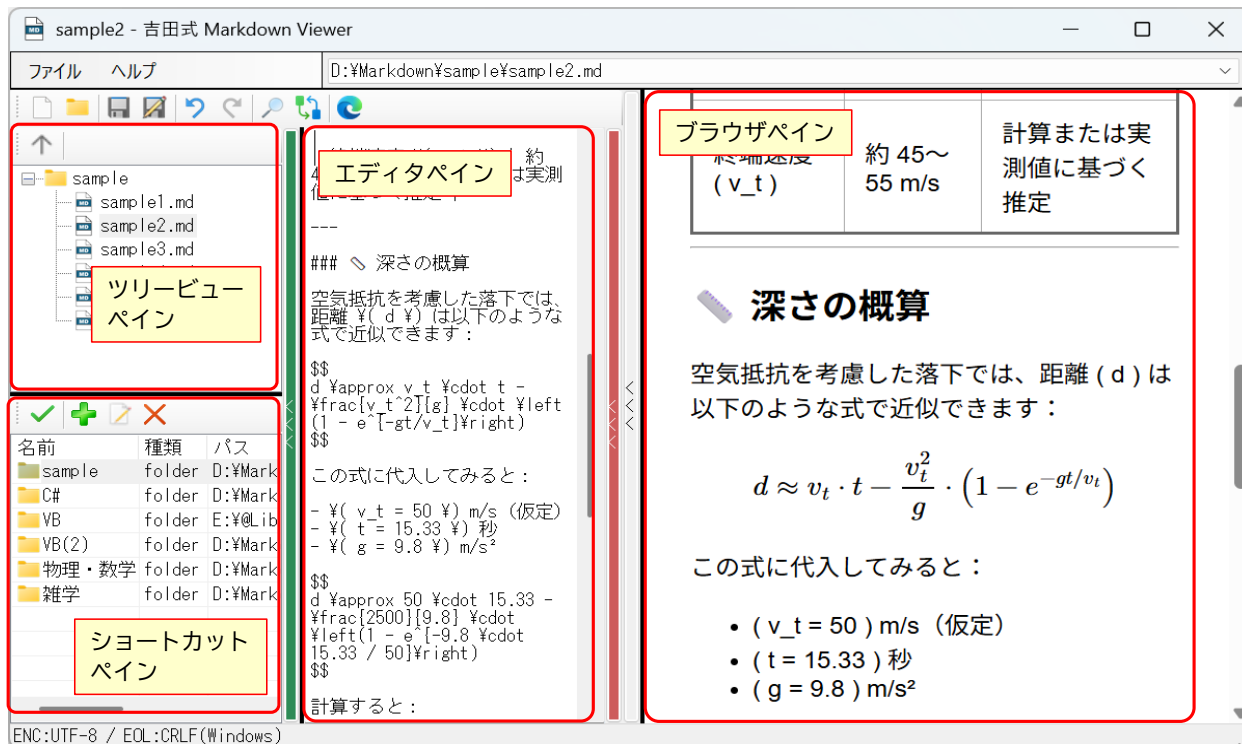
初回起動時（SmartScreen警告について）

初回起動時に「PCが保護されました」という警告が表示される場合があります。
その場合は、[詳細情報]→[実行]の手順で起動を行ってください。
※この警告は、Microsoftによるコード署名が未登録のアプリに対して表示される仕組みです。
当アプリは開発元により安全性を確認済みであり、ウイルスや不正な動作は含まれていません。
安心してご利用ください。



※画面はWindows 11環境での例です。OSのバージョンや設定により表示が異なる場合があります。

■画面構成



ツリービュー

現在開いているファイルをルートフォルダとして、フォルダやファイルをツリービュー構造で表示します。
ファイルを選択すると、その内容をエディタとブラウザにロードします。
※ツリービュー内のフォルダやファイルをドラッグ&ドロップで移動するという機能は現状、実装していません。

エディタ

Markdown形式のテキストを入力・編集するための領域です。直感的な操作で、スムーズに記述できます。

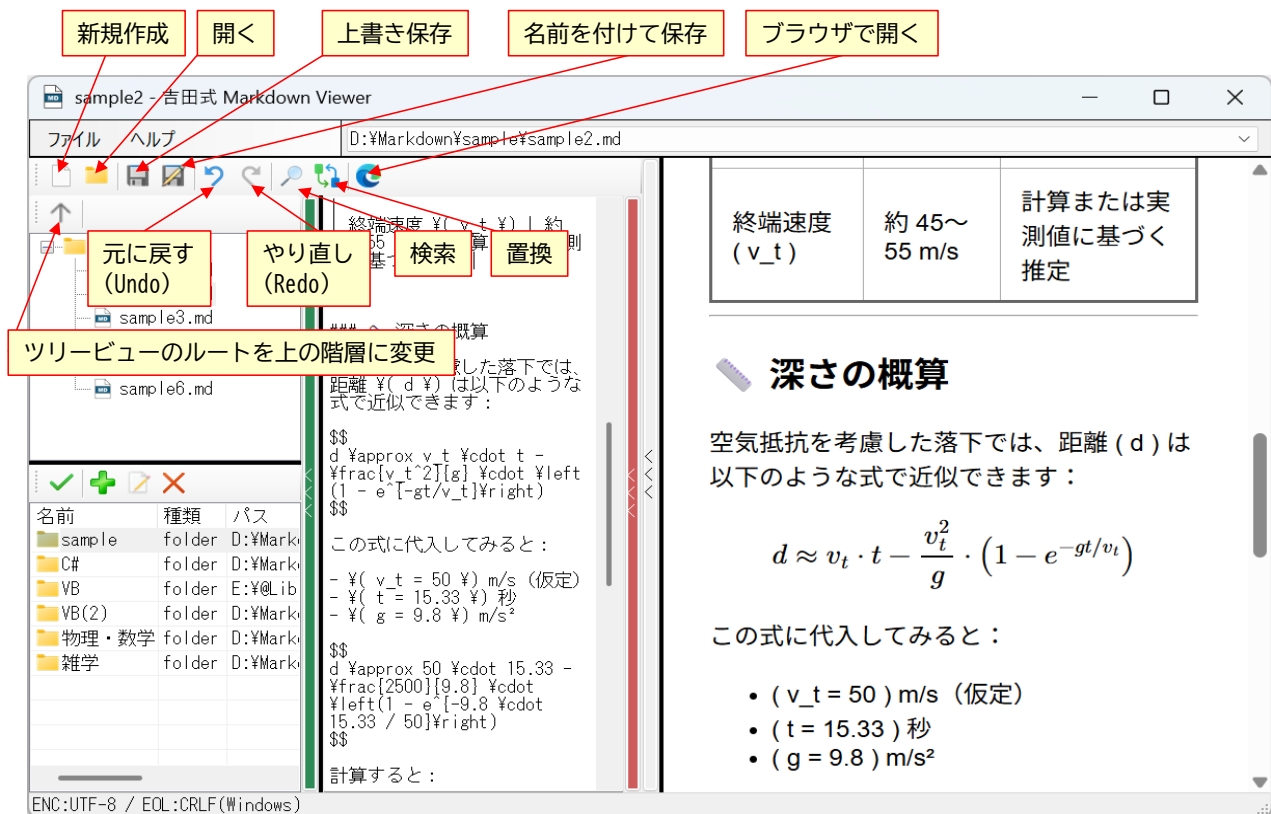
ブラウザ

エディタに記述したMarkdownをリアルタイムでHTMLに変換し、ブラウザに表示します。

ショートカット

MDファイルやMDファイルを格納したフォルダへのショートカットを任意の名前で登録できます。
※既に登録されているものと重複する名前の登録はできません。

■基本操作（１）：画面構成と基本操作



■ツリービューペイン

上の階層へ移動

ツリービューペインのルートフォルダを1つ上の階層に変更します。

開く

MDファイルを選択するためのファイルダイアログを表示します。

■エディタペイン

新規作成

現在開いているMDファイルを閉じ、エディタとブラウザの内容をクリアします。

開く

MDファイルを選択するためのファイルダイアログを表示します。

上書き保存

エディタの内容を保存します。

- ・MDファイルを開いている場合は、現在のファイルに上書き保存します。
- ・ファイルを開いていない場合は、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

名前を付けて保存

新しいMDファイルとして保存するためのダイアログを表示します。

ブラウザで開く

ブラウザに表示されているHTMLを、OSの既定ブラウザで開きます。

元に戻す (Undo)

編集した内容を元に戻します。

やり直し (Redo)

元に戻す前の状態に戻します。

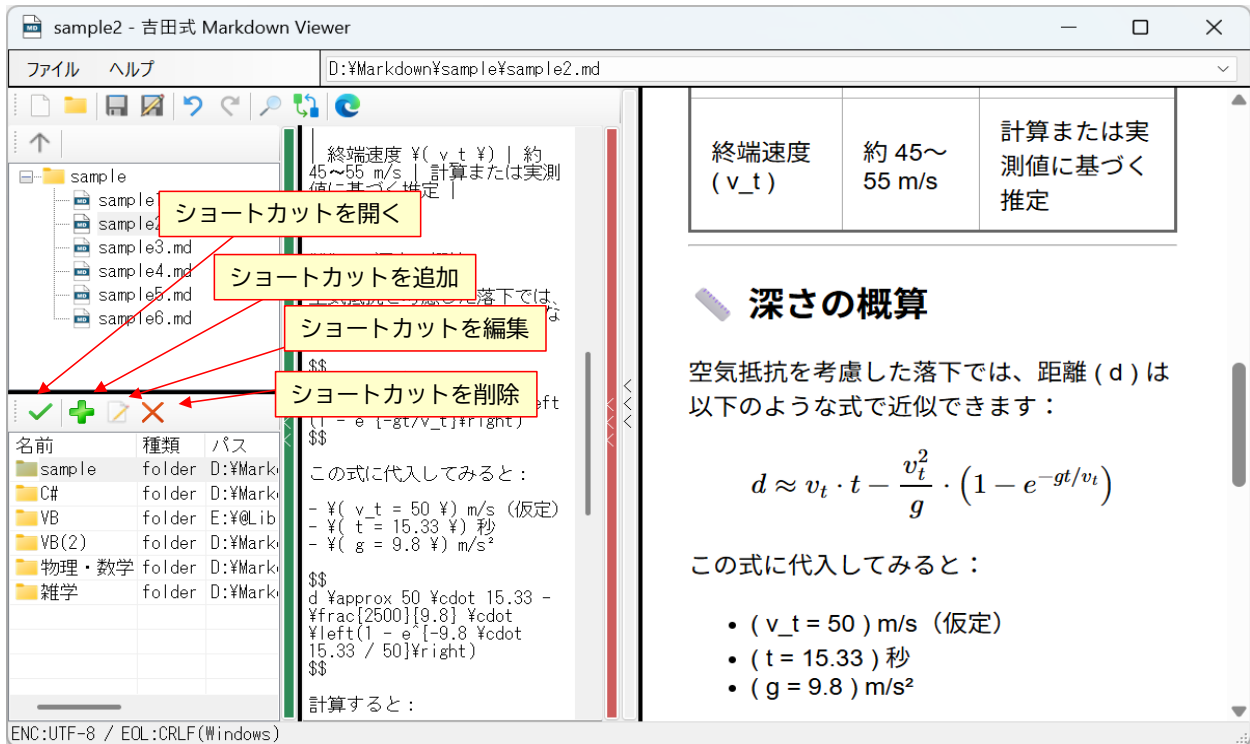
検索

検索画面を開きます。検索画面の説明は後述します。

置換

置換画面を開きます。置換画面の説明は後述します。

■基本操作（２）：ショートカットツールバーの機能



■ショートカットペイン

<ショートカットとは>

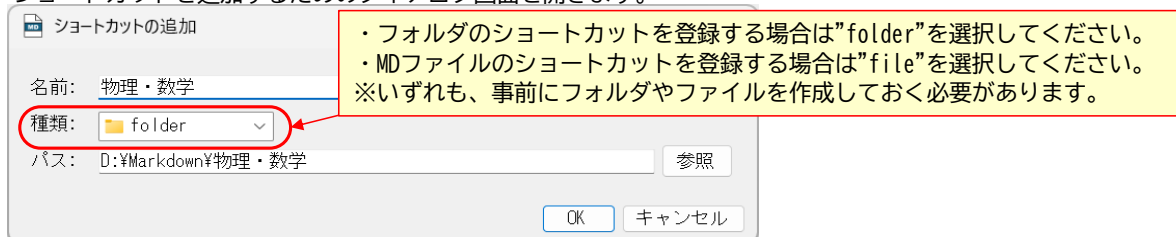
当アプリにおけるショートカットとは、ブラウザにおけるお気に入り（ブックマーク）に相当する機能です。よく使うフォルダや Markdown (MD) ファイルをショートカットとして登録しておくことで、目的の場所へ素早くアクセスできるようになります。これにより、作業効率が向上し、煩雑なフォルダ移動やファイル検索の手間を省くことができます。

ショートカットを開く

選択中のショートカットを開きます。
対象の種類が"folder"の場合、ツリービューへ展開します。
対象の種類が"file"の場合、選択中のファイルを読み込み、エディタ及びブラウザへ展開します。

ショートカットを追加

ショートカットを追加するためのダイアログ画面を開きます。



ショートカットを編集

選択中のショートカットを編集するためのダイアログ画面を開きます。



ショートカットを削除

選択中のショートカットを削除します。

■基本操作（3）：検索

■検索置換画面の開き方

開き方1

エディタペインでCtrl + Fキーを押下

開き方2

エディタペインのツールバーより、検索ボタンを押下

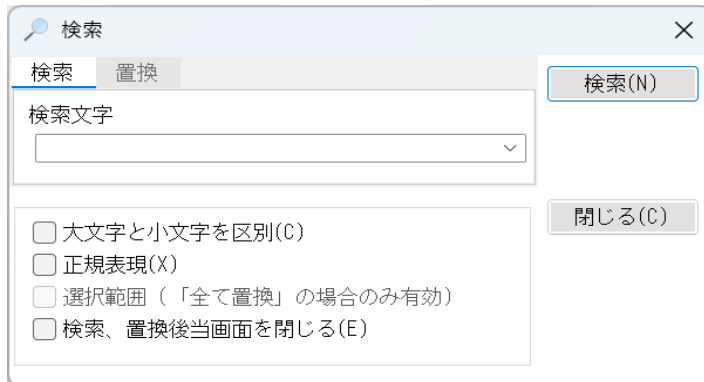


開き方3

アプリ起動後に一度も検索を行っていない場合は、エディタペインでF3キーを押下

※アプリ起動後に検索を行っている場合は、検索画面を開かず、前回の検索文字で検索を行います。

■検索画面



使い方

1. 検索文字列に検索対象の文字を入力

2. 検索オプションを指定

大文字と小文字を区別	アルファベットの大文字小文字を区別します。
正規表現	正規表現で検索します。
検索、置換後に当画面を閉じる	検索後に検索画面を閉じます。

3. 検索ボタンを押下

■基本操作（４）：置換

■検索置換画面の開き方

開き方1

エディタペインでCtrl + Hキーを押下

開き方2

エディタペインのツールバーより、置換ボタンを押下



■置換画面

使い方

1. 検索文字列に検索対象の文字を入力
2. 置換後文字列に検索対象の文字を入力
3. 置換オプションを指定

大文字と小文字を区別	アルファベットの大文字小文字を区別します。
正規表現	正規表現で検索します。
範囲選択	選択範囲の文字列を置換します。 ※文字列を選択していない場合は、 エディタ内の文字列全てが対象になります。 ※全て置換ボタンを押下した場合のみ有効です。
検索、置換後に当画面を閉じる	置換後に置換画面を閉じます。

3. 置換ボタンかすべて置換ボタンを押下

置換	エディタのカーソル位置を起点に、順次置換を行います。
全て置換	エディタ内の全ての文字列を対象に検索を行い置換を行います。 置換オプションの選択範囲にチェックがついており、かつ チェックボックスが有効になっている場合は、エディタ内で 選択している範囲の文字列を対象に検索を行い置換を行います。

■基本操作（5）：正規表現について

正規表現について

文字列のパターンを記述するための特殊な記法で、検索や置換、抽出などに利用されます。
例えば「数字だけ」「メールアドレス形式」などを柔軟に判定できます。
詳細な使い方や構文は、インターネット上の解説サイトなどをご参照ください。

使用例

使用目的	正規表現例	説明
数字のみを抽出	<code>¥d+</code>	1つ以上の数字にマッチします（例：123）
メール形式の判定	<code>¥w+@¥w+¥. ¥w+</code>	簡易的なメールアドレス形式にマッチします
郵便番号の抽出	<code>¥d{3}-¥d{4}</code>	「123-4567」のような日本の郵便番号形式

置換における正規表現の使用例

置換処理では、検索文字列だけでなく、置換後の文字列にも正規表現を活用できます。
例えば、検索文字に“(¥¥¥¥[|¥¥¥¥])”を指定し、置換後文字に“\$\$\$\$”を指定すると
“¥[”や“¥]”を“\$\$\$”に読み替えることができます。

Markdown記法では“¥[”や“¥]”で囲んだ文字列を数式として認識する場合もあり、そうした記法を
統一したい場合に“\$\$\$”への置換が有効です。

※当ビューアでは“¥[”や“¥]”で囲んだ文字列を数式として認識しません。

※バージョン1.0.5より、ペースト時に“¥[”や“¥]”を自動置換するオプションを設定画面に追加しました。
詳細は「設定画面」に関する項を参照ください。（このオプションは、初期値がONとなっています）

置換

検索 置換

検索文字
(¥¥¥¥[|¥¥¥¥])

置換後文字
\$\$\$\$

検索(N)
置換(R)
全て置換(A)

☐ 大文字と小文字を区別(C)
☒ 正規表現(X)
☐ 選択範囲（「全て置換」の場合のみ有効）
☐ 検索、置換後当画面を閉じる(E)

正規表現を使う際は、「正規表現」に
チェックを付けてください。

Markdown

\$\$\$
$$d \approx 50 \cdot 15.33 - \frac{2500}{9.8} \cdot \left(1 - e^{-9.8 \cdot 15.33 / 50}\right)$$

\$\$\$



HTML

$$d \approx 50 \cdot 15.33 - \frac{2500}{9.8} \cdot \left(1 - e^{-9.8 \cdot 15.33 / 50}\right)$$

■基本操作（６）：表データの貼り付けについて

Excelからの表データ張り付けは、自動でMarkdown記法に変換します。

※対象が1列の場合など、表データとして識別できない場合は、プレーンテキストと同様に扱う場合があります。

	A	B	C
1	社員名	部署	内線
2	佐藤	営業部	101
3	鈴木	開発部	202
4	高橋	総務部	303



吉田式 Markdown Viewer

ファイル ヘルプ D:\Markdown¥sample¥sample3.md

社員名 | 部署 | 内線 |

佐藤 | 営業部 | 101 |

鈴木 | 開発部 | 202 |

高橋 | 総務部 | 303 |

社員名	部署	内線
佐藤	営業部	101
鈴木	開発部	202
高橋	総務部	303

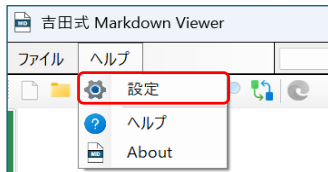
ENC:UTF-8 / EOL:CRLF(Windows)

※プレーンテキストとして貼り付けたい場合は、Shiftキーを押しながら貼り付けを行ってください。

■設定画面（１）

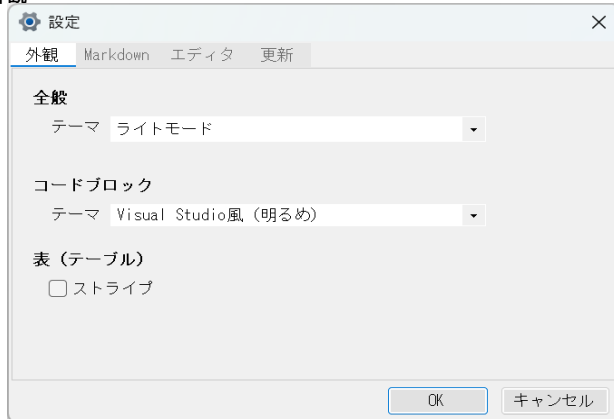
設定画面の開き方

画面上部のメニューからヘルプを展開し、設定を選択してください。



設定画面について

外観



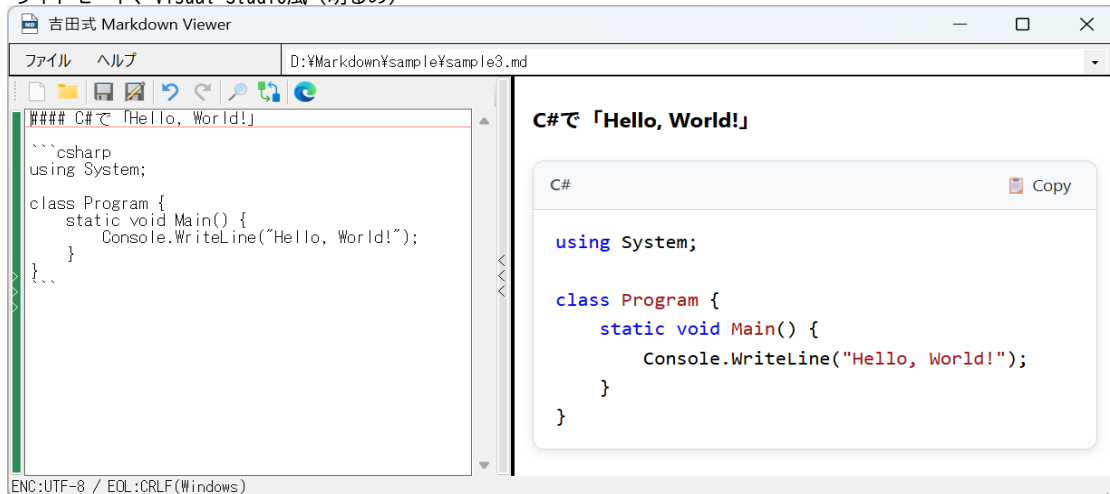
全般

テーマ	アプリの表示モード（テーマ）を選択します。
システム	OS のテーマに合わせて自動切替え
ライト	明るい配色
ダーク	暗い配色

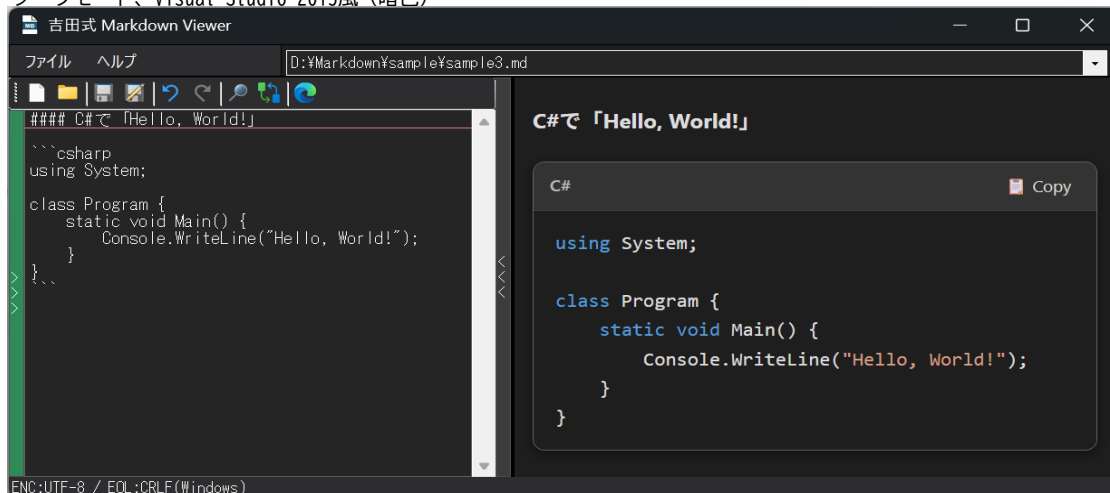
コードブロック

テーマ	コードブロックを表示する際のテーマを指定します。
-----	--------------------------

ライトモード、Visual Studio風（明るめ）



ダークモード、Visual Studio 2015風（暗色）



■設定画面（2）

Markdown

設定

外観 Markdown エディタ 更新

保存時の基本設定

文字コード UTF-8 (BOMなし)

改行 CRLF (Windows)

貼り付け時の設定

☒ 数式の形式を統一（“¥[~¥]”を“\$\$~\$\$”に置換）
※貼り付け時にShiftキーを押下している場合は、設定内容に関わらず、置換を行いません。

OK キャンセル

保存時の基本設定

文字コード	保存時に使用する文字コードを指定します。 Markdown ファイルの一般的な標準は UTF-8 (BOM なし) であり、 本アプリでも初期値として採用しています。
改行	保存時の改行マークを指定します。 Windows上で扱う限りにおいては初期値のCRLFで問題ありません。

※既存のMarkdownファイルを開いた場合は、既存ファイルの文字コードを優先します。

※MDファイルをSJISで保存した場合、内容に2バイト文字（日本語など）が含まれないと、読み込み時に UTF-8 (BOMなし) として誤判定されることがあります。

そのため、SJISでの保存は非推奨です。近日中にSJIS対応は廃止予定です。

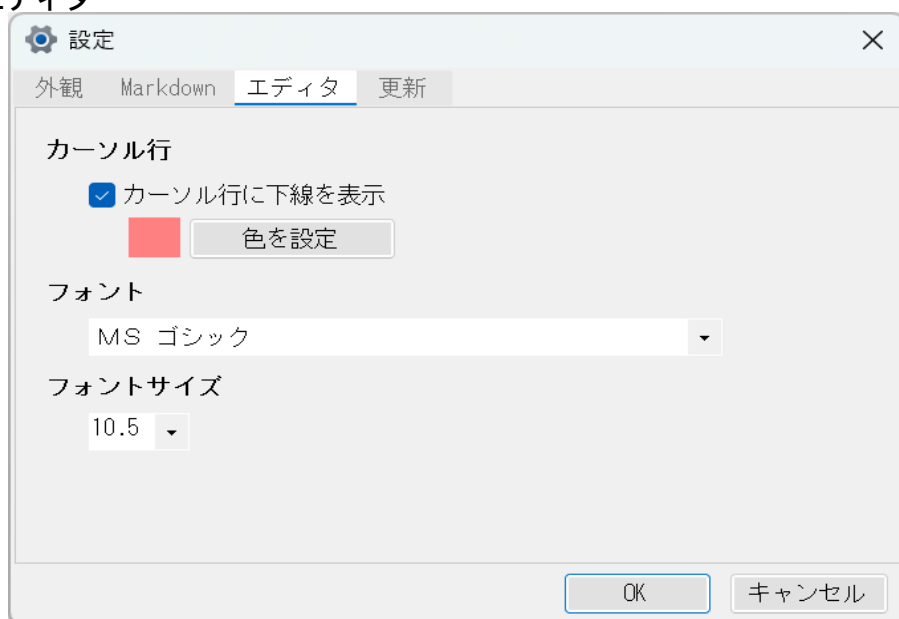
貼り付け時の設定

数式の形式を統一	テキストの貼り付け時に“¥[~¥]”を“\$\$~\$\$”に置換（初期値はON）
----------	---

※貼り付け時にShiftキーを押下している場合は、設定内容に関わらず、置換を行いません。

■設定画面（3）

エディタ



カーソル行

カーソル行に下線を表示

チェックを付けた場合、Editorの選択行に下線を表示します。

色を選択

下線を表示する場合、下線の色を指定することができます。

```
#### DEFR ドイツ・フランス・スペインなど（大陸ヨーロッパ）
- **小数点** → カンマ（例：3,14）
- **桁区切り** → ピリオドまたはスペース（例：1,000,000 または 1000000）
- 使用国：ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、
```

選択中の行に下線を表示

フォント

エディタに表示する文字列のフォントを指定できます。

※選択肢には等幅フォントの一覧が表示されます。

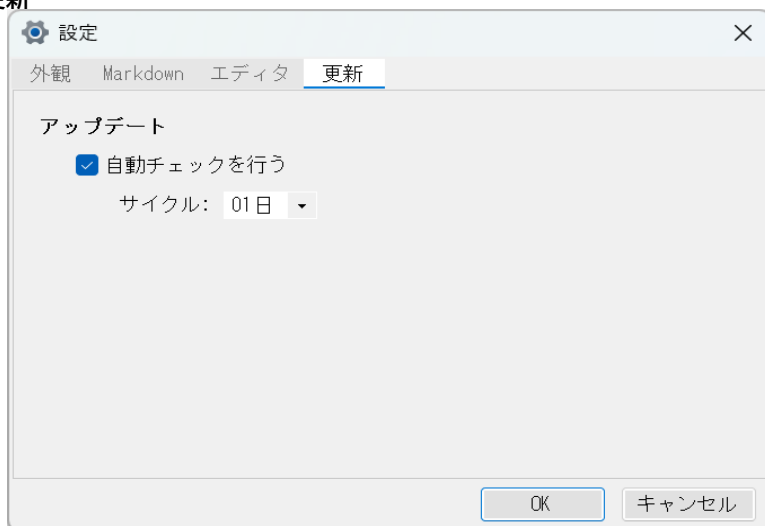
フォントサイズ

エディタに表示する文字列のフォントサイズを5～72ポイントの範囲で変更可能です。

※フォントサイズにおける 1 ポイントは、1/72 インチを意味します。

■設定画面（4）

更新



自動チェックを行う

新しいバージョンが公開されているか、自動チェックを行う場合、チェックを付けてください。

※自動チェックでは Vectorのサイトへアクセスし、最新版が公開されているか確認します。

※通知が表示された際は、サイトを開いてダウンロードを行い、ファイルの差し替えを行ってください。

※ネット環境によっては、自動チェックに失敗する場合があります。

その場合、自動チェックは行えないため、この画面よりチェックを外し、自動チェック機能を無効化してください。

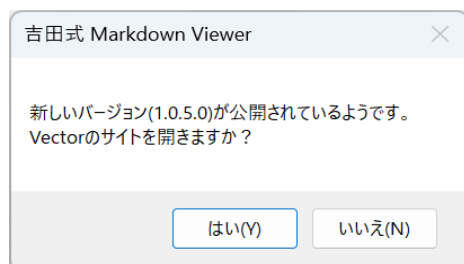
サイクル

自動チェックのサイクルを指定します。

1日を選択した場合は、24時間ごとに更新チェックを行います。

新しいバージョンが公開されている場合、下記のようなメッセージが表示されます。

[はい]を選択することで、Vectorの公開サイトに移動します。



■ショートカットキーについて

全般

操作	ショートカットキー
新規作成	Ctrl + N
開く	Ctrl + O
保存	Ctrl + S
印刷	Ctrl + P
名前を付けて保存	Ctrl + Shift + S
終了	Alt + F4

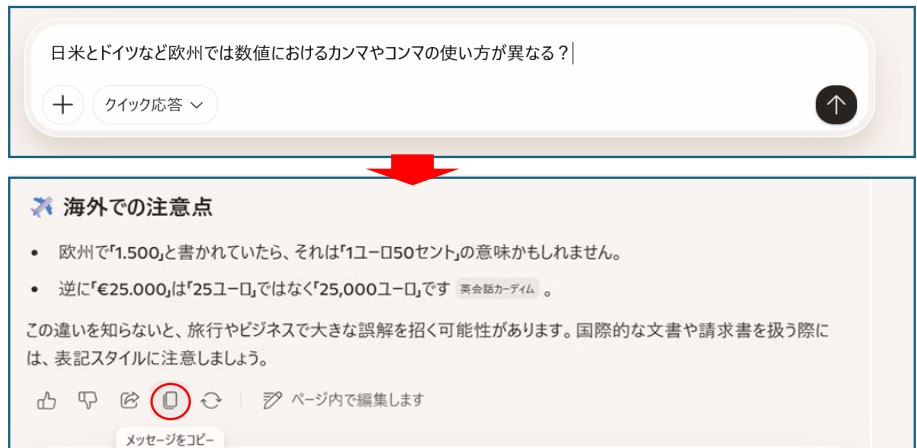
エディタペイン

操作	ショートカットキー	説明
コピー	Ctrl + C	選択されたテキストをクリップボードにコピー
カット	Ctrl + X	選択されたテキストをクリップボードにコピーして削除
ペースト	Ctrl + V	クリップボードの内容を挿入
	Ctrl + Shift + V	プレーンテキストとして貼り付け
元に戻す	Ctrl + Z	最後の操作を取り消す
やり直し	Ctrl + Y Ctrl + Shift + Z	取り消した操作を再実行
全選択	Ctrl + A	テキスト全体を選択
削除	Delete	選択されたテキストを削除
文字単位で左移動	Ctrl + ←	単語単位でカーソルを左へ移動
文字単位で右移動	Ctrl + →	単語単位でカーソルを右へ移動
行頭へ移動	Home	カーソルを行の先頭へ
行末へ移動	End	カーソルを行の末尾へ
上へ移動	↑	前の行へ移動（複数行の場合）
下へ移動	↓	次の行へ移動（複数行の場合）
改行	Enter	改行
インデント挿入	Tab	半角スペースを4文字分挿入
検索	F3	初回は検索画面を呼び出す
上へ検索	Shift + F3	初回は検索画面を呼び出す
検索画面呼び出し	Ctrl + F	検索画面を呼び出す
置換画面呼び出し	Ctrl + H	置換画面を呼び出す
「¥」（U+00A5）を入力	Ctrl + ¥	¥(U+005C)ではなく¥(U+00A5)を入力
	※ ¥(U+005C)はフォントによっては \ として表示される場合があります。	

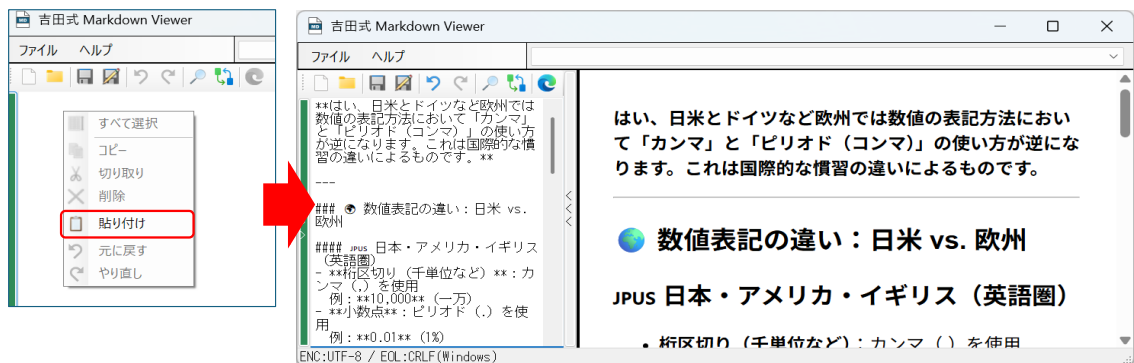
活用例：CopilotやChatGPTの回答をMarkdown形式で整理・保存する方法

CopilotやChatGPTなどのAIアシスタントは、技術的な質問への回答やアイデアの整理、文章の下書き作成など、日々の業務や学習において非常に有用です。これらの回答をMarkdown形式で取得・保存することで、情報の再利用性や可読性が高まり、ナレッジベースとして活用することができます。

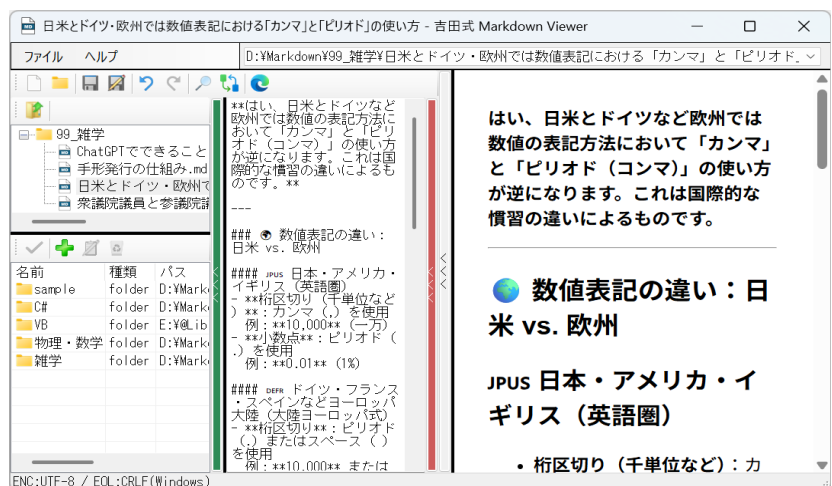
1. AIでの調べ物の結果をクリップボードにコピー



2. エディタに貼り付け



3. mdファイルを保存しておけば、いつでも簡単にAIの回答を確認することが可能です。もちろん、自分でAIの回答を編集したり、新たにメモを作って保存しておくことも簡単にできます。



※これは、吉田式Markdown Viewer v1.0.5.0 の画面です。GUIが最新バージョンとは若干異なります。

■製作者情報

製作者
吉田

連絡先 (eMail)
yoshida.works.1991@gmail.com

■免責事項

当該ソフトウェアに基づいて生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
また、当ソフトウェアの利用に際しては、ユーザー自身の判断と責任において行っていただくようお願いいたします。

■著作権および使用許諾について

本マニュアルおよびソフトウェアに関するすべての著作権は、製作者（吉田）に帰属します。
本ソフトウェアの無断複製、転用、配布、改変を禁止します。

■寄付のお願い

当ソフトウェアをご利用いただき、誠にありがとうございます。
皆様のご支援により、このプロジェクトは成り立っております。

このソフトウェアは無償で提供されておりますが、継続的な開発と改善には多くの時間と労力が必要です。
もしこのソフトウェアが役立ったと感じていただけましたら、寄付を通じてご支援いただけると幸いです。

銀行振込

銀行名	三菱UFJ銀行	
店番号・名前	383	蕨支店（わらびしてん）
口座番号	0101019	
名義	ヨシダ ユウスケ	

※カンパのお振込みに関して、当方から暗証番号、ログインパスワード、認証コード、クレジットカード情報などをお尋ねすることはありません。

更新履歴

更新日	バージョン	更新内容
2026/08/02	1.2.3.0	①WebView2内の外部URLを標準ブラウザで開く処理の復活 ②「#header1」のようなページ内リンクへの対応
2026/07/26	1.2.2.0	HTMLにファビコンを追加
2026/07/26	1.2.1.0	①コードブロックのコピー時に余分な改行が入る問題を修正 ②表(テーブル)の表示を改善 ③表(テーブル)のストライプ表示を切り替える機能を追加 ④引用部分の表示を改善
2026/07/20	1.2.0.0	①オフライン環境での動作に対応(合わせてMD→HTML変換関連のコードを大幅改定) ②フレームワークを.NET 8から.NET 10に変更 ③MD→HTML変換の不具合を修正 ④コードブロックや表などの表示を変更
2026/03/30	1.1.1.0	①拡大画像をESCキーで閉じる機能を追加 ②Markdown を0.x系から1.x系にアップデート(日本語の強調が壊れにくくなった等)
2026/03/20	1.1.0.0	①アプリ全体のダークモードに対応(一部のUIはOS仕様により非対応) ②設定画面の構成を変更(HTMLタブを削除し、外観タブを追加) ③コピーしたテキストの改行コードをCRLFに統一
2026/02/16	1.0.7.2	①コードブロックのコピーが機能しない問題を修正 ②ブラウザペインで Ctrl + F による検索が表示されない問題を修正 ③エディタウィンドウのフォント設定を追加(設定画面から変更可能) ④Ctrl + ¥(バックslashキー)で「¥」(U+00A5)を入力する機能を追加 ⑤GitHub Flavored Markdown (GFM)の一部記法に対応(タスクリストなど)
2026/02/09	1.0.7.1	①Undo / Redo の処理ロジックを見直し、動作の安定性を向上 ②アップデートチェックを OFF にしている場合でも実行されてしまう不具合を修正 ③保存ボタンおよびショートカットの連続クリックを防止し、誤操作を抑止 ④コードブロックのテーマ変更が即時反映されない不具合を修正 ⑤コードブロックの対応言語を拡充 ⑥SJIS保存時の注意事項をマニュアルに追記
2026/02/03	1.0.7.0	①印刷時のタイトルが正しく反映されない問題を修正 ②画像挿入時の表示ロジックを改善 ③新規作成直後に WebView が表示されない場合がある不具合を修正 ④数式表示ができなくなっていた問題を修正 ⑤エディタの文字サイズ変更機能を正式実装 ⑥ブックマークからMDファイルを開いた際の動作を変更 ⑦画像/動画/音声ファイルに対応 <例> Markdown では、以下のように記述することでファイルを表示または再生できます。 ※埋め込むファイルは、対象のMDファイルと同じフォルダに配置する必要があります。 ![[画像]](/picture.webp) ![[音声]](/music.mp3) ![[映像]](/video.mp4) ⑧WebView のコンテキストメニューを独自のものに差し替え ※コンテキストメニューからの「コピー」はアプリ独自の処理であり、 キーボード操作 (Ctrl + C) によるコピーとは動作が異なります。
2026/01/25	1.0.6.7	①ドラッグ&ドロップでファイルを開けない不具合を修正 ②「ブラウザで開く」が正しく動作しない不具合を修正
2026/01/21	1.0.6.6	①新規作成後、エディタの入力内容がブラウザに反映されない不具合を修正 ②コードブロックのコピーボタンでクリップボードにコピーできない問題を修正 (WebView2の仕様変更に対する対応) ③Web画面でハイパーリンクをクリックした際、外部ブラウザで リンクを開くように仕様を変更。
2026/01/15	1.0.6.5	起動に失敗する場合がある不具合を修正(初回起動時の設定初期化処理に問題がありました)
2025/10/26	1.0.6.0	①編集集中の行に下線を描画し、視覚的強調を図る ②新バージョンのリリース確認機能を追加 ③設定画面の構成を変更 ④Undo/Redo機能を強化(カーソル位置が先頭に移動する問題などを修正) ⑤CSSの最新URL取得頻度を1日1回に修正(サイトへの負荷軽減、起動速度向上を図る) ⑥その他、内部ロジックに関する改善
2025/10/05	1.0.5.0	①コピー&ペーストでUndoが2つ進む問題を修正 ②ペースト時、「¥[~¥]」を「\$\$~\$\$」に置換するオプションを追加(初期値:ON) ③検索画面が環境によって崩れる問題を修正 ④[名前を付けて保存]で保存したファイルがTreeViewに重複表示される問題を修正 ⑤エディタの右クリックメニューを自作のメニューに変更

更新履歴

更新日	バージョン	更新内容
2025/09/29	1.0.4.0	①設定画面の追加 ・デフォルトの文字コードと改行コードの設定 ・コードブロックのシンタックスハイライトテーマ設定 ②HTMLコードブロックの表示崩れ修正 ③Delphiコードブロックの表示崩れ修正（ハイライト非対応） ④Undo/Redo機能を強化 ⑤ペースト機能を強化 ・Excelなどの表を張り付けた際は、Markdownの表形式に変換する ・Shiftキー押下時はプレーンテキストとして扱う ⑥ツリービューペインに上階層への移動ボタンを追加 ⑦ルート配下の変更をツリービューへ反映する機能を追加 ⑧ツールバーに関する変更 ・配置変更 ・検索、置換ボタンを追加 ・Undo、Redoボタンを追加 ⑨その他、内部ロジックに関する改善(特にINIファイル関連を刷新)
2025/09/15	1.0.3.0	①ショートカット機能(お気に入り機能)を追加 ②ファイル読み込み時の文字コード判定を強化 ③ツリービュー、エディタビューの表示非表示機能を改善
2025/08/24	1.0.2.0	①生成するHTMLを改善 ②ツリービューペインを追加（試験的導入）
2025/08/13	1.0.1.0	印刷機能を追加
2025/08/11	1.0.0.0	公開用初版